

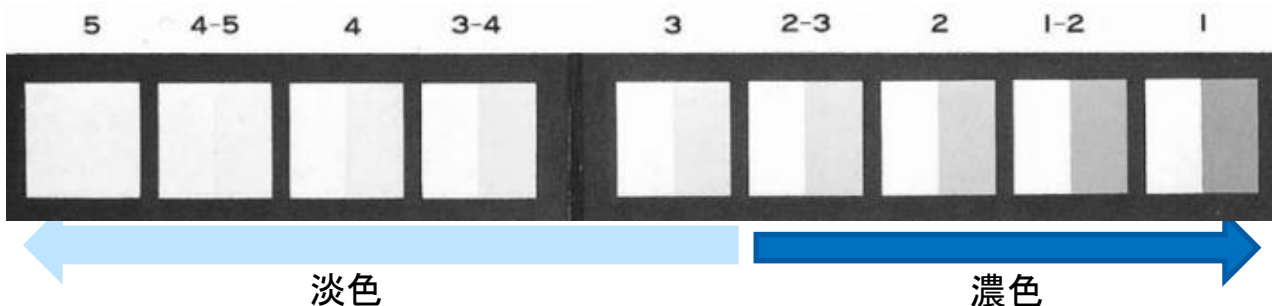
【シリーズ】 報告書を読み解く～その試験結果どういう意味～

⑥異色濃淡の考え方

ボーダーのシャツや身頃と袖での切替等のデザインの服が流通しています。製品において、異色かつ濃淡が異なる場合の組み合わせは、濃色部分から淡色部分へ汚染が発生した場合、目立ちやすい傾向にあり、消費者クレームに繋がるケースが多いので注意が必要です。

異色濃淡における濃色と淡色の見分け方

汚染用グレースケール



濃色：汚染用グレースケール2～3級以下の黒や紺など濃い色を指す

淡色：汚染用グレースケール3級以上の薄い色を指す。

異色：色目の異なる組み合わせ。

異色濃淡：**異色かつ濃淡の配色**となる組み合わせ。



ボーダー柄や、**2色以上の生地**を組み合わせた衣料品のことを**配色使い**とも言うわ♪



異色濃淡の製品で心配されること

異色濃淡製品で特に注意が必要なのが**色泣き**。

色泣きがどのような現象かについては、次回紹介するケン



HPでは試験方法を紹介。QRコードまたは、下記の文字をクリックして参照ください。
[ボーケンのHPから閲覧する。](#)

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京試験センター

所在地 〒135-0001 東京都江東区毛利1-12-1
担当 中尾 mail: s-nakao@boken.or.jp

X(イクス) @boken1948

試験動画や豆知識など役立つ情報を発信しています！みなさまのフォローお待ちしております！

